

里山の魅力発信！紀の川市「川原げんき村」創造プロジェクト

1 事業主体 川原げんき村協議会

2 全体事業費 26,995千円（うち元気プロ 7,987千円）

3 目的

地元住民が主体となって川原の魅力に磨きをかけ、里山の暮らしや風景が楽しめる新たな名所づくりと特産品の活用による名物づくりに取り組むことで、地域外からの誘客と名物の販売を促進し、「川原げんき村」を創造する

4 3つの柱による「川原げんき村」の創造

(1) 里山の暮らしや風景が楽しめる「新たな名所」づくり

【1,985千円】(うち元気プロ1,985千円)

①里山の暮らしを楽しむ

- ・遊休農地を整備し、収穫から加工まで体験できる農作業体験の実施（こんにゃく芋、さつまいも等）
- ・地域に受け継がれる里山暮らし体験の実施（自家製保存食、柿の葉寿司づくりなど）
- ・企業や個人を対象に、地元農家の指導を取り入れた果樹のオーナー制度を実施

②里山の風景を楽しむ

- ・開墾した里山に、山頂まで登れる遊歩道と景色を見ながら休憩できるあづま屋を住民自らの手で整備し、桜をはじめ、季節の風景が楽しめる「誘客空間」を創造



<里山整備予定地>

(2) 特産品の活用による名物づくり 【5,416千円】(うち元気プロ 5,416千円)

- ・地域内に食品加工・製造ができる拠点を設置
- ・Iターン移住者と共に地元農産物を活用した加工品を開発（生芋こんにゃく、ゆず味噌、山椒味噌、山菜加工品、フルーツジャム、漬け物、焼き肉のタレ、柿の葉寿司、野菜のふりかけ、川原弁当）
- ・近畿大学と協働により消費者ニーズにあったパッケージを開発し商品化



<手作り生芋こんにゃく>

(3) 誘客・販売の仕掛けづくり 【19,594千円】(うち元気プロ 586千円)

①誘客

- ・イベント情報や四季折々の魅力をインターネット上に掲載
- ・地域内小学生とともにみどころマップを作成し、めっけもん広場などの集客施設で配付
- ・案内看板を設置し地域へ観光客を誘導
- ・紀の川市が運行する地域巡回バスを活用

②販売

- ・開発した商品をめっけもん広場、青洲の里、ふれあい市場及び各種イベントで販売
- ・川原地域内で朝市を自主開催（毎月1回）
- ・川原に工房をもつ木工工芸家とコラボした産品販売イベント「川原楽市」の開催
- ・桜祭の開催と産物販売の実施
- ・近畿大学のマーケティング指導による販売促進

5 目標

	平成26年度		平成30年度
観光客数（川原地区）	500人	→	3,000人
地域特産品の商品化	0商品	→	10商品